

令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

中学年

- ・マット運動や鉄棒運動では、スモールステップで良さが認められることで、最後まで意欲をもって取り組むことができた。
- ・個別指導やグループ別指導など、個に応じた運動能力を支援したことで、技能を高めることができた。
- ・個に応じて泳力別練習を行った結果、多くの児童が目標を達成することができ、水へ恐怖心が少なくなった。

高学年

- ・自分自身の体の変化に気付きながら、その変化に応じて運動の領域が広がった。
- ・ICT 機器を使用して、自身の動きを視覚的に確認することで、技を高めようという意欲が生まれた。
- ・それぞれの運動、スポーツの技能についての考えが深まり、友だちと交流をしながら運動の特性に触れていた。
- ・個に応じて泳力別練習を行った結果、多くの児童が自分の目標を達成することができ、水泳に対する恐怖心と苦手意識がなくなった。

(2) 課題

中学年

- ・少人数の中でのポイントをおさえてのアドバイスや教え合いを、多くの場面で生かせるようにしたい。
- ・運動に苦手意識があり、体の使い方がわからない。
- ・人数が少ないため、ゲームの指導が難しい。

高学年

- ・勝敗にこだわる児童が多いため、ルールを児童の中からつくり、自分たちに合ったゲームを楽しむような場をつくることで、より運動の楽しさを味わうことができるようにしたい。
- ・苦手意識のある種目・競技を少しでも前向きに捉えさせるよう、場の設定を工夫する。

2 授業改善のポイント（観点別）

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動と並行して、自分の体への意識を高めていく。 ・運動経験の不足から、巧緻性や持久力に乏しい児童も多いので、「できる＝できない」でなく、「できるようになるために」の声掛けの指導を心がけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動種目はゲーム的な要素が多くルールや作戦なども自分たちで作っていくことをさせたい。また、自立活動などの記録も含めて、自分の体力や動きが成長したことを実感させていく指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に取り組む姿勢もしっかりと定着してきている。苦手だった種目にも自分から取り組めるようになってきている。今後もできる運動からはじめて、スモールステップで良さを認めて、伸びを実感させていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体についての知識を高めさせていく。本校で行っている自立活動と関連付け、健康な体を維持するためにはどのようなことが大事か具体的に示していく。 ・技や技能のポイントを具体的に提示する。タブレットを活用し、映像で自分の動きを確認させ、技や技能のポイントをつかませるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に合わせたルールを児童に考えさせ、勝敗だけではなくどうしたらよりよい動きができるかを自分たちで考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短縄跳びや水泳、持久走などの個人で取り組む運動について、目標を設定させることで意欲的に取り組ませる。